「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称	教育委員会運営費 [教育委員会運営事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	1	教育委員会	事業番号	1
事業の種別	☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)										
	☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名	教育総務			課	庶務	係	課長名	斎藤 謙二郎			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 学校教育の充実・生涯学習の充実	この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1 - 1・2			
							総合計画書 (ページ)	31・35			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 教育委員会委員					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 教育委員会委員の人数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 円滑な教育委員会委員活動を推進する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 教育委員会会議(定例会・臨時会)、教育委員懇談会、教育委員会会議以外の活動					
	③ そのために何をしましたか。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置された教育委員会を運営する。 ①教育委員会定例会及び臨時会の開催 ②教育委員懇談会の開催 ③教育委員会会議以外の活動					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①教育委員会定例会及び臨時会の開催数 ②教育委員懇談会の開催数 →③①②の会議以外の活動数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	5	5	5					
	成果指標	②の数値	件	136	22	11月ごろ入力できる見込み					
	目 標	②の目標値	件	153	136	22					
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 会議の開催状況により参加の機会は増減することから、便宜的に前年度数値を目標値とする。											
活動指標	③の数値	回	①13 ②8 ③多数	①15 ②9 ③多数	①12 ②9 ③多数						
3 経費	事業費(実績)		円	4,466,551	4,385,438	4,261,750	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	4,466,551	4,385,438	4,261,750					
		特定財源	円	0	0	0					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
職員人件費(再任用以外)		円	8,310,000	8,380,000	8,250,000						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	12,776,551	12,765,438	12,511,750						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 特に無し。										
	5 今後の方向性 仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 今後も必要に応じて事務を確認、整理し、適切な処理を行いながら、引き続き教育委員会の円滑な運営に努める。										